

不活性化インフルエンザ(インフル)ワクチン Inactivated Influenza (Flu) Vaccine

不活性化インフルエンザとは何か？

不活性化インフルエンザワクチンは、インフルエンザウイルスの病原性を完全になくしたもので、またはこのウイルスの一部から作られます。このワクチンは、インフルエンザウイルスからの感染を防ぎ、注射にて投与されます。ワクチンは、風邪や胃腸炎(嘔吐や下痢)を引き起こす他のウイルスに対する保護をしません。BC州では、鼻腔用スプレーとして使われる弱毒生インフルエンザウイルスから作られた弱毒性インフルエンザワクチンを含むいくつかの異なるインフルエンザワクチンを利用可能です。詳細については、[HealthLinkBC File #12e 弱毒生インフルエンザ\(インフル\)ワクチン](#)を参照してください。全てのワクチンは、カナダ保健省によって承認されています。

BC州では、通常、インフルエンザワクチンは10月に利用可能となります。最善の防御のために、できるだけ早く予防接種を受けてください。医療提供者に相談してワクチンがいつ入手できるかを確認するか。

誰がワクチンを接種すべきか？

2022-23年のインフルエンザシーズンでは、生後6か月以上の全ての方がインフルエンザワクチンを無料で利用できます。インフルエンザワクチンは、インフルエンザによる深刻な病気にかかるリスクが高い方や、リスクの高い人にインフルエンザを感染させる可能性がある方に特に推奨されています。

インフルエンザによる重篤な疾患にかかるリスクが高い方には、次のような方が該当します：

- 生後6か月から5歳未満のお子様
- インフルエンザシーズン中の妊娠のあらゆる段階の妊婦の方
- 65歳以上の高齢者
- 居住型ケア、介護付き生活、またはその他のグループ施設に住んでいるあらゆる年齢の居住者
- 先住民
- 症状のためにアスピリン®またはASAを長期間服用する必要がある子供および10代の若者
- 以下を含む特定の病状を持つお子様と成人：
 - 喘息、慢性閉塞性肺疾患、嚢胞性線維症など、定期的な医療を必要とする心疾患または肺疾患がある方
 - 腎臓病、肝炎といった慢性肝疾患、糖尿病、がん、貧血、免疫力が低下している方
 - 重度の脳損傷、脊髄損傷、発作または神経筋障害のある人、呼吸困難、嚥下困難、または食物や液体の窒息のリスクを引き起こす健康状態のある方

- 極度に肥満なお子様と成人

以下のようなインフルエンザによる重篤な病気の高リスクの方にインフルエンザを感染させる可能性がある方：

- 感染リスクの高い家族との接触(子供を含む)
- 5歳未満のお子様がいる家庭、介護者およびデイケア職員
- 長期療養施設を含む医療現場で患者と接触する医師、看護師など
- 医療施設やその他の患者ケア施設への訪問者
- 州の矯正施設受刑者
- クルーズ船などの感染が大量に発生する可能性がある環境でリスクの高い方にケアまたはサービスを提供する方

ワクチン接種が特に推奨されるその他のグループには、次のような方が含まれます：

- 警察官、消防士、救急隊員、矯正施設職員など、必要不可欠なコミュニティサービスを提供する方
- 生きた家禽を取り扱う方

どのようにワクチンは供給されるのか？

ワクチンは通常1回の注射で投与されます。季節性インフルエンザワクチンを接種したことがない9歳未満のお子様は、2回接種する必要があります。ワクチンの2回目の接種は、予防レベルを上げるために重要であり、1回目接種から4週間後に接種する必要があります。

このワクチン接種による恩恵は何か？

ワクチンは、深刻で時に致命的な感染症であるインフルエンザを防ぐ最善の方法です。予防接種を受けることにより、インフルエンザウイルスの蔓延を減らし、他の人を保護するのにも役立ちます。

ワクチン接種後に起こりうる副作用とは？

ワクチンに対する一般的な副作用には、ワクチン接種箇所の痛み、発赤、腫れなどがあります。他の症状には、1-2日間続く場合があり、次のようなものがあります。

- 熱
- 頭痛
- 筋肉や関節の痛み
- 倦怠感
- 吐き気
- 嘔吐

- 下痢
- 寒気

新生児や幼児は、いらいらしたり、眠くなったり、食欲が低下することがあります。20人に1人未満が眼呼吸器症候群 (ORS)を患う場合があります。ORSの症状には、目が赤くなる、咳や喉の痛み、嘔声があります。

不活性化インフルエンザワクチンは、インフルエンザウイルスの病原性を完全になくしたもので、または感染を引き起こさないウイルスの一部を含んでいるため、インフルエンザに感染することはありません。

発熱や痛みがある場合、アセトアミノフェン(例：タイレノール®)またはイブプロフェン(例：アドビル®)を服用することができます。ASA(例：アスピリン®)は、ライ症候群のリスクがあるため、18歳未満の方は服用しないでください。

ライ症候群の詳細は、[HealthLinkBC File #84 ライ症候群](#)を参照ください。

100万人に1人未満の割合と、アナフィラキシーと呼ばれる命に関わるアレルギー反応がでる可能性は非常にまれですが、反応が出た場合に備え、ワクチン接種後15分間は診療所に滞在することが重要です。アナフィラキシーの症状には、蕁麻疹、呼吸困難、咽喉、舌、唇の腫れなどがあります。これらの症状が出た場合、医療提供者は治療することができます。緊急治療にはエピネフリン(アドレナリン)投与と救急車での最寄りの救急科への搬送が含まれます。診療所を去った後に症状が出た場合は、9-1-1または地域の緊急電話番号にお電話ください。

重度または予期しない副作用が出た場合は常に、医療提供者に報告することが重要です。

ギランバレー症候群(GBS)は、体の筋肉の衰弱と麻痺を引き起こす可能性があるまれな状態です。GBSは、感染後に発生することが最も多いです。まれに、いくつかのワクチン接種後にGBSが発生することもあります。GBSは、約100万人に1人の割合でインフルエンザワクチンに関連している可能性があります。

不活性化インフルエンザワクチンを接種すべきでない人は?

下記に当てはまる場合は、かかりつけの医療従事者に相談して下さい：

- 以前に接種したインフルエンザワクチンまたはワクチンの一部に対し、生命を脅かす副作用があった方(卵アレルギーの人は安全に予防接種を受けることが可能です)
- 以前インフルエンザワクチン接種後、重度の眼呼吸器症候群を患った方
- インフルエンザワクチン接種後8週間以内にギランバレー症候群(GBS)を発症したが、別の原因は特定されなかった方
- がん治療のためにチェックポイント阻害剤を投与している方

以下は、ワクチン接種時期に影響がある場合があります

生後6か月未満の子供は、この年齢の効果が知られていないため、ワクチンを接種するべきではありません。

風邪やその他軽度の病気により、ワクチン接種を遅らせる必要はありません。ただし、心配な場合は、医療提供者にご相談ください。

インフルエンザとは何か?

インフルエンザは、インフルエンザウイルスによって引き起こされる呼吸器系の感染症です。インフルエンザ感染者は、肺の感染症であるウイルス性または細菌性肺炎を含む、他の感染症のリスクがあります。

インフルエンザは、咳やくしゃみ、対面での接触により、人から人へ簡単に感染します。ウイルスは、咳やくしゃみによる小さな飛沫が他の人や物に触れたり、手洗いの前に目、口、鼻に触れる時にも広がる可能性があります。

インフルエンザ予防方針とは何か?

BC州には、リスクが高い人々をインフルエンザから守るためのインフルエンザ予防方針があります。医療従事者は、インフルエンザのシーズン中に患者ケアエリアにいる場合は、インフルエンザの予防接種を受けるか、マスクを着用する必要があります。学生、ボランティア、医療施設やその他の患者ケア施設への訪問者も、インフルエンザワクチンを接種していない場合はマスクを着用する必要があります。

成熟した未成年者の同意

予防接種の同意について、ご両親または保護者の方とお子様で話し合うことが推奨されています。それぞれのワクチンによる恩恵と起こりうる副作用、および予防接種を受けない場合のリスクが理解できる19歳未満の子供、法的にワクチン接種に対し、同意あるいは、拒否することができます。成熟した未成年者の同意の詳細については、[HealthLinkBC File #119 乳幼児法、成熟した未成年者の同意および予防接種](#)をご確認ください。

詳細

詳細に関しては、以下のヘルスリンクBCファイルをご確認ください：

- [HealthLinkBC File #12a 高齢者が不活性化インフルエンザ\(インフル\)ワクチンを接種すべき理由](#)
- [HealthLinkBC File #12b インフルエンザ\(インフル\)に関する事実](#)
- [HealthLinkBC File #12c インフルエンザ\(インフル\)予防接種:神話と事実](#)
- [HealthLinkBC File #12e 弱毒生インフルエンザ\(インフル\)ワクチン](#)

予防接種に関する詳細には、予防接種 BC www.immunizebc.ca をご覧ください。

